

5/18-24#48キリストは褒賞と刑罰と共に来て、**ともし火は暗い所に輝き、キリストは明けの明星として彼の勝利者たちにひそかに現れる**。I。「見よ、私はすぐに来る。私の報いは私と共にあり、それぞれの働きにしたがって与える」(啓22:12)。A主は彼の警告、「私はすぐに来る」を繰り返しています。それは、私たちが彼の再来の時に与えられる彼の報いを、よくよく考えるためです。B主の来臨の時に、この報いは信者たちそれぞれに、彼らが携え上げられた後、キリストの裁きの座で与えられます。C啓示録22:12で「報い」と訳されたギリシャ語は、「賃金」を意味します。D主イエスが再来して王国を所有する時、彼は彼に属するすべての者たちに褒賞か刑罰を与えます。1ある人たちは、彼の刑罰を受けます。なぜなら、「私の報いは私と共にあり」という主の言葉は、褒賞だけでなく刑罰もあることを暗示しているからです。2これに沿って、啓示録22:7で主は言い表しました、「私はすぐに来る。この巻物の予言の言を守る者は幸いである」。3啓示録の予言の言を守る者は幸いです。なぜなら、彼は褒賞を受けるからです。4かの日に私たちが受ける褒賞は、今日の私たちの態度と大いに関係があります。a1コリント3:8は、私たちは自分の労苦にしたがって褒賞を受けると言います。1コリント3:8 さて、植える者と水を注ぐ者は一つですが、各自はそれぞれの労苦にしたがって、自分の褒賞を受けます。bマタイ16:27で主イエスは、彼の再来の時、私たちの行ないにしたがって報いと言いました。マタイ16:27 なぜなら、人の子は彼の父の栄光の中で、御使いたちと共に来るが、その時それぞれに、行ないにしたがって報いてくださるからである。E永遠の救いは私たちの働きとは関係ありませんが、王国の褒賞は私たちが救われた後、主の命によって行なった私たちの働きに完全にしたがっています。Fあらゆる救われた者は、キリストの裁きの座の前に現れて、善であれ悪であれ、めいめいが実際に行なった事にしたがって、体を通してなされた事柄に対して報酬を受けます。善を行なう者は褒賞を受け、悪を行なう者は刑罰を受けます。2コリント5:10 なぜなら、私たちはみな、キリストの裁きの座の前に現れなければならないからであり、それは善であれ悪であれ、めいめいが実際に行なった事にしたがって、体を通してなされた事柄に対して報酬を受けるからです。G私たちは裁きの座の前に立ち、私たちの過去のすべての生活、歩み、振る舞いに関して主に言い開きをします。こういうわけで、使徒パウロでさえ、自分自身を審理しようとせず、自分を審理される方は主であると言います。H私たちが救われた後、どのように主のために仕え、働くかは、重要な事柄

です。Iパウロは言います、「もし、その土台の上に建てた人の働きの残るなら、彼は褒賞を受けます」(1コリント3:14)。J主が再来する時、裁きがあります。その裁きにおいて、彼は私たちが褒賞か刑罰かのどちらを受けるかを決めます。K報いはキリストの裁きの座で決定されます。「私たちはみな、キリストの裁きの座の前に現れなければならないからであり、それは善であれ悪であれ、めいめいが実際に行なった事にしたがって、体を通してなされた事柄に対して報酬を受けるからです」(2コリント5:10)。II。「私たちはさらに堅くされた預言者の言を持っています。夜が明けて明けの明星があなたがたの心に昇るまで、その言を、暗い所に輝くともし火のように、よくよく心にとめていなさい」(2ペテロ1:19)。Aペテロは聖書の預言の言葉を、暗い所に輝くともし火にたとえています。1これが示しているのは、この時代が暗い夜の中の暗い所であり、この世のすべての人々が暗やみの中で行動し活動しているということです。ローマ13:12 夜はふけて、昼は近づきました。ですから、暗やみのわざを脱ぎ捨てて、光の武具を着けようではありませんか。2聖書の預言者の言葉は、信者たちに対して輝くともし火のように、彼らの暗やみの中で輝く霊的な光を伝達し(知的理解のための文字の知識だけではなく)、彼らを導いて真昼へと入らせ、さらには暗い夜を経過させて、主の現れの夜明けの日に至らせます。3太陽の光としての主が出現する前、私たちは光としてのこの言葉に、私たちの歩みを照らしていただく必要があります。B「夜が明けて」は、輝く日が明けるように、光に満ちた来たるべき時を例証する比喻です。明けの明星は、その夜明けの前に信者たちの心に昇ります。これらの信者たちは、聖書の預言の輝く言葉を心にとめることによって、明るくされ照らされている者たちです。1背教の時、信者たちは、この事柄において、預言者の言葉がともし火のように背教の暗さを貫き輝いて、そのような夜明けに至ることを、よくよく心にとめています。2このことは彼らを促し励まして、熱心に主の臨在を追い求めさせ、目を覚まさせ、その結果、主が盗人のように来られる時、彼らは主の到来(パルシーア)の秘密の部分において、主を見逃すことがないでしょう。3この比喻は来たるべき時代、王国の時代のことを言っているに違いなく、それは、主が義の太陽として出現(来臨)する時に明ける日のようであり、彼の光はこの時代の暗い夜の闇を突き破って輝き出ます。4これに先立ち、主は夜の最も暗い時に、目を覚まして主の愛すべき出現を待ち望んできた者たちに、明けの明星として出現します。2テモテ4:8 今からは、義の冠が私のために用意されているのです。

かの日には、義なる審判者である主が、それを私に授けてくださいます。私だけではなく、主の出現を慕ってきたすべての人にも授けてくださいます。

啓2:28 私はまた、彼に明けの明星を与える。5彼らは預言者の言葉の輝きによって照らされており、それは夜が明けるまで彼らを導くことができます。

6私たちが、暗い所でともし火のように輝く聖書の言葉を心にとめているなら、主の実際の出現の前に、今日の背教の暗やみに輝く明けの明星として、主が私たちの心に昇るでしょう。III.「私はダビデの根また子孫であり、輝く明けの明星である」(啓22:16b):

Aキリストは天の発光体、光によって表徴されており、輝く明けの明星です。Bキリストは彼の再来の時、一般的には、彼の民に対して昇る太陽となりますが、特別に、目を覚まして彼を愛する者たちには明けの明星となります。C後者は勝利者に対する褒賞です。「私は...明けの明星を与える」(啓2:28)。Dキリストがダビデの根また子孫であることは、イスラエルと王国と関係があります。キリストが輝く明けの明星であることは、召会と携え上げと関係があります。E明けの明星は、夜明け前の最も暗い時に現れます。F大患難はこの最も暗い時となり、その後、王国の日が明けます。これが示しているのは、キリストは、この時代が閉じる前の最も暗い時に、輝く明けの明星として現れるということです。G王国で、主は彼の民に太陽として公に現れますが、大患難の前には明けの明星として、彼の勝利者にひそかに現れ、彼らを携え上げます。H輝く明けの明星は、目を覚ましている者たちだけに現れます。I眠っている信者たちは、明けの明星を見ることがなく、一般的に太陽としてのキリストだけを見ます。J目を覚ましている者たちは、主が長く離れていた後に再来するとき、優先的に彼の臨在の新鮮さを味わいます。K全聖書は、主の来臨に対する願いが祈りとして表明されて終わっています。L啓示録22:20におけるヨハネの祈りは、聖書の中の最後の祈りです。「これらの事を証しする方が言われる、『しかり、私はすぐに来る』。アーメン。主イエスよ、来たりませ！」(啓22:20)。啓22:7 見よ、私はすぐに来る。この巻物の予言の言を守る者は幸いである。

証台湾の同労者、林鴻兄弟が、2025年1月新年集會に神戸に来られた時、彼は私と坊木兄弟に、「全日本の証を強化するために、関西に大集會所が必要である」と言われました。その後、集會前の責任者集會で、関西の責任者の兄弟たちに彼は同じ負担を語られました。私たちは物件を探し始めましたが、200坪以上の土地が見つかりませんでした。そして、9月全国特別集會の責任者集會で、林兄弟は同じ負担を語られました。それ

から彼と詳細な交わりを何度も重ねました。彼の要点は次の通りでした:①電車や高速道路の利便性がよい場所、②中心的な場所ではなく、比較的安価で購入できる便利な所を選ぶ、③必ず普段使いができなければならない、④200坪以上、⑤間口が広い整形地(①~⑤はMUST条件)、⑥付近に大学キャンパスがあればなお良い、⑦出来る限り大通り沿いの目立つ場所にする(⑥&⑦はWANT条件)、⑧普段使いする神戸が半額負担し、もう半額を全国(西日本25%、東日本25%)で負担する。

私は彼の語り掛けを主からの言葉として取り、次のように祈りました、「主イエスよ、林兄弟を通してのあなたの語り掛けに感謝します。私は何とかして、あなたの負担を実現したいです。全日本の証を強めるために、関西に大集會所が必要です。私たちを供給し導いてください。現在でも、特別集會時の最大500人は、魚崎集會所では小さすぎるので、あなたの必要に応じることができていません。私たちに大集會所を得させてください」。また、「主よ、この案件を加速させるために、5月の特別集會の前に、具体的な物件を与えてください」。主に感謝します!主は祈りを聞いてくださり、4月13日(火)にその日公開されたばかりの西宮北口の物件(4.5億円327坪)を見せてくださいました。次の日に、坊木兄弟、西野兄弟、笠井兄弟(電話)にも見て頂きました。また、JGWの岸田兄弟、鈴木兄弟とも交わりました。私は当日の午前中に不動産仲介業者に4.2億円で購入意向を正式に伝えました。相手側の不動産業者は、公開して直ぐの物件なので、4.2億円は難しいと言ってきました。その週の17日(金)、売主側の大手不動産業者と打ち合わせが設定され、その場で、彼らの方から4.1億円が提示されました。私はびっくり仰天しました。同時に、主の素晴らしい御手があったことが分かりました。そして、4月28日(火)の午後、この物件の契約(6月末までに入金)をすることができました。ハレルヤ、5月2~4日の特別集會に間に合いました。林兄弟によって遣わされた呉Bと陶Bは、特別集會で西宮北口の大集會所(総額8億円)の負担を何度も、徹底的に、分かりやすく交わって頂きました。西日本の聖徒たちも大いに歡喜して、この交わりを受け入れました。私たちは、前面の同労者の言葉によくよく心をとめることで、大いに祝福されました。国際情勢が急激に変化する中、7倍に強化された靈によって強められ、主の速い動きについて行きます。アーメン、主イエスよ、来たりませ!